



松田権六の仕事場

関連資料展示

会期 2025. 9.9 -11.24

松田権六の道具

左ケース

- 1：鯨箆（くじらべら）
- 2：中尊寺金色堂の解体修理の時に出てきた平安時代の
刷毛を模して作られた刷毛
- 3：檜の皮で作った箆
- 4：上塗り専用の刷毛
- 5：地塗り専用の刷毛
- 6：細く塗るための刷毛
- 7：小刷毛
- 8：あしらい毛棒（けぼう）・・・蒔絵粉を扱うための筆の一種
- 9：鼈甲製の蒔絵筆用の洗い箆
- 10：大小の針金で作られた「引掻き」用筆
- 11：ぶんまわし・・・コンパス
- 12：犬牙（けんき）・・・柄の先に犬の牙を取り付けた道具
- 13：鯛牙（たいき）・・・柄の先に鯛の牙を取り付けた道具
- 14：各種蒔絵筆
- 15：粉筒（ふんづつ）
- 16：塗師刀（ぬしがたな）
- 17：槍鉋（やりかんな）
- 18：彫刻刀や各種の切出小刀

遺愛の品々

- 19：フェルト帽
- 20：腕時計
- 21：筆記用具
- 22：眼鏡

粉筆笥の引出

中央ケース

- 23：粉鎮（ふんちん）
・・・蒔絵用の金銀粉を入れた粉包みを押さえるために用いる重し
- 24：粉匙（ふんさじ）・・・蒔絵用の金銀粉をすくうのに用いる小さじ
- 25：鳥軸製粉筒
- 26：爪盤（つめばん）・・・蒔絵を描く際に漆をのせておく小さなパレット
- 27：あしらい毛棒
- 28：払い毛棒

松田権六のうつわ

中央ケース

- 29：松田権六《松梅文蒔絵盛器》1968年頃
- 30：松田権六《鴛鴦蒔絵棗》1945年
- 31：松田権六《鳶老木棗》1985年
- 32：松田権六《獅子蒔絵香盒》1916年
- 33：松田権六《長生の器》1940年

右ケース

- 34：三代渡辺喜三郎《懷石椀》1935年頃
- 35：室瀬和美《波文蒔絵吸物椀》2008年
- 36：磯矢阿伎良《朱塗大椀》1975年
- 37：作者不詳《高台寺蒔絵椀》制作年不詳

蒔絵で使われる素材

- 38：夜光貝
- 39：貝の真珠層部分を薄くはいだもの
- 40：アワビ
- 41：メキシコアワビ
- 42：卵殻（ウズラ）
- 43：象牙
- 44：平文用の各種素材



国立工芸館
National Crafts Museum